

石造無縫塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうむほうとう
所在地	奈義町小坂
指定年月日	平成16年3月12日
解説	この無縫塔のある場所は「幸福寺跡」とされ、小さな阿弥陀堂があり、南北朝時代の造立と推測される宝篋印塔などが立っている。無縫塔は、花崗岩製で、総高118cm。直径33cmの卵形の塔身を頂き、請花には蓮華座の浮彫、八角塔の竿の1面には蓮華の浮彫が施される。基礎部分の角狭間の彫刻は、鎌倉時代末期から室町時代初期の様式を示しており、ほぼ欠損がない。中台と竿を伴う重制無縫塔は、県内に4基しかない貴重な石造物である。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	石造無縫塔
よみかた	せきぞうむほうとう
しょざいち (所在地)	奈義町小坂
していつひ (指定した日)	平成16年3月12日
せつめい	昔(むかし)の寺(てら)あとと伝(つた)えられる場所(ばしょ)に今(いま)から約(やく)600年(ねん)くらい前(まえ)に建(た)てられた花(か)こう岩(がん)製(せい)の塔(とう)です。この形(かたち)の塔(とう)は、現在(げんざい)県内(けんない)に4基(き)しかありません。